

第563号

2020年2月28日

発行: 自治労連千葉県本部
千葉県中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内
TEL 043-227-9393 FAX 043-227-6060
mail union@jichiroenchiba.jp
URL http://www.jichiroenchiba.jp/
責任者・竹内 敏昭 編集長・實川 理

「地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会」県へ要請

発言する長平弘連絡会代表



地域の病院が危ない

国が病床削減を押しつけ

医師と看護師を増やして地域医療の充実を!

新型コロナウイルスが社会問題化しています。こうした中、生活に欠かせない地域医療が曲がり角を迎えています。昨年9月、厚労省は統廃合の再検証が必要な病院を指名したりリストを公表し、公立病院再編への圧力を強めています。1月28日、県本部も参加する「地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会」は、県への要請を行い、住民が求めているのは削減ではなく充実だと訴えました。

県の担当者に現場の声を届ける

千葉県民連絡会への要請には、千葉、市原、香取、匝瑳、山武、長生、松戸の各地域・団体から29人が参加しました。県本部医療評議会のメンバーも発言し、現場の「声」を届けました。

再検証リストは地方自治への介入



要望書を手渡す連絡会会長(写真右)

要請内容は、医師・看護師の確保、県立病院の存続・充実、県民の立場からの保健医療福祉計画・地域医療構想の見直し、地域包括ケア・在宅医療、国民健康保険など39項目にわたりました。

とりわけ、厚生労働省の「公立・公的病院再編・統合」の「再検証」要請リストについて、「地域の実情を無視した特定のデータ、

全国一律の基準で個別の医療機関に再編・統合の検討を求める方法は、現場の自治体や医療関係者の努力を否定し、地域医療の崩壊を招く地方自治への不当

介入であることから、撤回するよう国に要請すること」を求めました。

地域医療充実には持続可能な地域の鍵

さらに、「名指し」された10の病院関係者と自治体関係者、地域

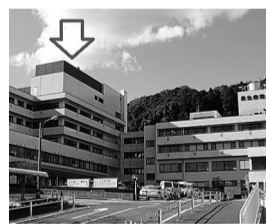
2019年9月 令和元年房総半島台風で停電発生

その時 病院では

職員総出でバケツリレー



屋上の受水槽



自家発電がダウン 公立長生病院では、停電時に自家発電がダウンしたため、小型発電機3台を緊急性の高い人工呼吸器、抗がん剤ワクチンの冷蔵、輸血の冷蔵に使用しました。屋上の受水槽にポンプで水をくみ上げることができなくなりました。

ため、半日かけて職員総出のバケツリレーを行い、水を1階から屋上まで運びました。窓を開けても30度超 千葉県循環器病センターでは、雨による浸水がありました。風による大きな被害はありませんでした。停電は3日間続き、その間は空調が止まり、窓を開けても30度を超える中で過ごしました。院内の電話が使えないため、職員個人の携帯電話を使って輸血用製剤の発注をするなどの業務をこなしました。



伊能さん

住民の医療ニーズ等を十分聞き取り、県民のいのちと健康を守り、安心して住み続けられる地域づくりのために、県として努力すること」を求めました。 医師・看護師確保を県立佐原病院の伊能

解説

厚労省が424病院を名指し 公立病院の再検証リスト公表

地域医療構想で病院再編誘導

2014年の「医療介護総合確保推進法」

で、都道府県に医療供給の管理責任が課せられ、病院の再編がすすめられていきます。高齢化のピークとなる2025年の必要量まで病床数を削減する「地域

医療構想」を都道府県につくらせることで統廃合が誘導されています。

再編攻撃は新たな段階へ

さらに強力に病床削減を進めるべく、昨年9月厚労省は自治体が運営する公立病院と日本赤十字社などが運営

する公的病院について「再編・統合の再検証が必要」とする424病院の名指しリストを公表しました(存在しない病院も含まれていたため増減があり約440病院に後日修正)。

一方的な指定基準

国の責任を棚上げし、医師・看護師不足

「結論ありきの地方切り捨てだ」との批判が噴出していま

今後は民間病院も含めた再編議論が加速すること予想されます。地域の実情を踏まえ住民の意見を反映した地域医療を構想していくことが必要とされています。

再編リストに載った県内10病院(地域別)

- 【千葉市】千葉県千葉リハビリテーションセンター、国立病院機構千葉東病院、地域医療機能推進機構千葉病院、千葉市立青葉病院
【銚子市】銚子市立病院【多古町】国保多古中央病院【横芝光町】東陽病院【南房総市】南房総市立富山国保病院【鴨川市】鴨川市立国保病院【富津市】国保直営君津中央病院大佐和分病院

「結論ありきの地方切り捨てだ」との批判が噴出していま。今後は民間病院も含めた再編議論が加速すること予想されます。地域の実情を踏まえ住民の意見を反映した地域医療を構想していくことが必要とされています。

「IR汚職」など、しっかりと報道し、国民の知る権利を奪わないで欲しい。これで良い訳がない。沖縄の闘いに学び、諦めず粘り強く、色々な権利を一つずつ取り戻していこう!

横断歩道